

こころ のなか



高知医療センター 理念及び基本方針

理 念

医療の主人公は患者さん

基本方針

1. 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します
2. 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します
3. 自治体病院としての使命を果たします
4. 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします
5. 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

CONTENTS

研修医のページ 「研修医になって」	3	専門外来・がん相談ほか	13
診療科紹介 「消化器内科」	4	外来診療の流れ	14
看護局 ナースのポケット 「あかちゃんのことを知るために」	6	紹介患者さん受け入れ停止のご案内	16
薬剤局 「予防接種について」	7	ドクターヘリ・ドクターカー 見学会を開催	16
医療技術局 「臨床検査技術部の紹介」	8	高知医療センター 市民公開講座 特別講演会	17
宝箱	9	栄養局	18
外来担当表	10	「えいようだより」	
		イベントを開催しました	20
		タオル帽子をご寄付いただきました	20



研修医になって

初期臨床研修医 田中 佑弥

麗かな秋晴れが続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今号の研修医ページを担当いたします初期研修医1年目の田中佑弥と申します。

幼い頃から夢描いた医師になることができた感謝と医療現場で実際に診療をする緊張感を抱えながら入職して早半年が経ちました。研修医になってからは学生の頃には経験することのできなかつた大変充実した毎日を送っています。学生の頃の実習では見学する機会が多いですが、研修医になってからは実際に診療し、処置、処方します。もちろん経験させていただける事はありがたく、楽しいです。しかし同時に、私が行って大丈夫だろうか、患者さんに嫌な思いはさせていないだろうかといった恐怖心もあります。また、医師国家試験を合格したのに医療現場ではこんなにわからない事が多く、こんなにも動けないものなのかと動揺する機会も何度もありました。そんな時、同じような経験をし、同じように悩む同期の研修医は大きな存在です。研修医ルームや仕事終わりのご飯で経験した事をお互いに話し、時には大笑いし、共有することで励ましています。学生の頃知り合いだった同期が同僚となる事でこんなに仲良くなるとは思いませんでした。研修医2年目の先輩方も大変仲が良く、研修医が仲良くなるのは高知医療センターの長所だと思います。また、指導医の先生、コメディカルスタッフの皆さまはとても優しく、様々な事を教えてくださいます。動けなくて怒られてもおかしくない時でも穏やかにご指導いただける事で萎縮せず思い切って挑戦することができますし、失敗しそうになってもこの経験を生かして次に繋げようと前向きになることができます。早く成長して私も役立てるようにしよう、任せてもらえる存在になろうという原動力になっています。

入職してから半年間、医療現場で働く責任の重さや難しさを痛感していますが、支えてくれる同期や

指導医の先生、スタッフの皆さまのおかげで毎日が充実しています。このような環境は決して当たり前ではなく、初期臨床研修を高知医療センターで送ることができてよかったと心から思います。感謝を忘れずに働いていきたいです。

私には理想の医師像があります。先にも述べましたが、私が幼い頃に医師を志すきっかけになった小児科の先生です。私は幼い頃、身体が弱く病院にかかる事が多くありました。いつも診てくださっていたのがその小児科の先生です。人見知りで人に懐くことのなかった私ですが、先生に「おいで」と言われた際に素直に先生の元に行った私を見て母は驚いたそうです。言葉で言い表すことの難しい不思議な包容力と信頼がその先生にはありました。私もこんな人になりたい、お医者さんになりたいと思ったことを今でも覚えています。医学部合格を報告に伺った際、「信念」を持ち「人間性のある」医師になって欲しいとその先生から言葉をいただきました。ですから、「人様を救いたい」という信念を持ち、「患者さんに寄り添っていく」人間性のある医師になりたいと思います。そのためには、確かな知識と技術を身に付け、人間性を養う必要があります。大変ありがたい境遇をいただけている私なので常に謙虚に真摯に研鑽を積みたいと思います。



拙い文章でしたがここまでお読みいただきありがとうございます。医師としても人としても未熟者ですが、できるだけ早く成長し皆さまのお役に立てるよう尽力して参ります。

末筆ですが、このような執筆の機会をいただけたこと、心より御礼申し上げます。

高知医療センター 臨床研修病院 基本理念

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1) 医師としてふさわしい人間性と能力を養う。 | 2) 医学及び医療の果たす社会的役割を認識する。 |
| 3) プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付ける。 | 4) 患者を全人的に理解し、尊重するよう努める。 |



消化器内科
ホームページ

岡本 宣人

科 長	岡本 宣人	副医長	久家 直子
医 長	高田 昌史	副医長	平川 雅海
医 長	小笠原 美樹	主 査	川村 祐人
医 長	岡本 雄貴	非常勤	西原 利治
医 長	福田 斯慮恵		

消化器内科とは

当科では消化器疾患に対して、内科的診断・治療を行っています。主に内視鏡を用いての検査、治療の比重が大きくなってきています。当院は救命救急病院であり、当科では消化管出血、急性胆道感染症、急性膵炎、異物誤嚥など緊急対応が必要な疾患に対して、他科とも協力しながらできるだけ迅速に対応しています。また、当院のがんセンターとしての役割のなかで、当科は消化管・肝胆膵腫瘍の治療前検査、閉塞性黄疸に対する減黄術、腸閉塞に対する減圧術等の治療、手術抗癌剤治療後の経過観察、消化管の早期癌に対する内視鏡的治療を行っています。こちらも、他科との連携協力が不可欠であり、協力体制を築いています。

実際の診療

(1)消化管

ご紹介いただいた消化管病変に対する精査、内視鏡処置を多く行っています。

精査内視鏡として、画像強調観察(NBI)、拡大内視鏡観察、超音波内視鏡などを施行し、CT、MRI、エコー検査等の画像検査もあわせて総合的な診断ができるよう努力しています。ダブルバルーン小腸内視鏡による小腸病変の診断治療も行っています。

内視鏡治療としては、食道、胃、大腸の早期癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を積極的

に施行しています。十二指腸腺腫、大き目の大腸腺腫(側方発育型)に対しては、粘膜と筋層の間の粘膜下層へ生理食塩水などを局注し隆起を形成し切除する内視鏡的粘膜切除術(EMR)だけではなく、浸水法による内視鏡的粘膜切除術(uEMR)を施行しています。

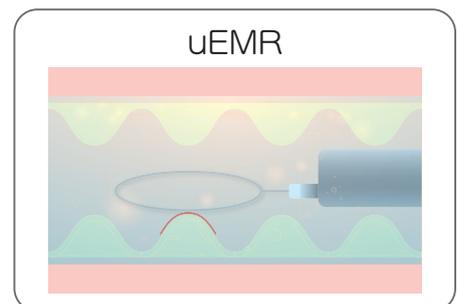
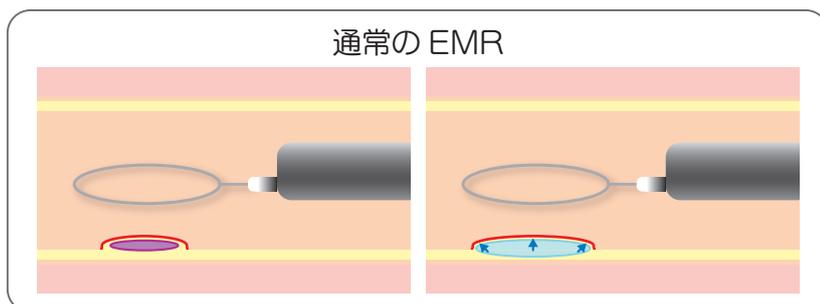
uEMRとは

消化管内腔を気体ではなく水で満たすことにより、固有筋層は輪状に広がるが、粘膜～粘膜下層は十分に伸展していないため管腔内に部分的に隆起した状態となります。隆起した粘膜部に存在する腫瘍病変は、隆起性病変や垂有莖性病変のような形態となりスネアによる絞扼が容易となります。固有筋層は粘膜～粘膜下層とは異なり管腔内に突出しないため、スネアで絞扼する際に筋層を巻き込むリスクが小さく安全性が高いと考えられます。

胃十二指腸潰瘍、食道静脈瘤破裂等の消化管出血に対して緊急内視鏡的止血術を施行しています。誤嚥異物の内視鏡的除去も、必要時は随時緊急に施行しています。

悪性腫瘍による消化管閉塞に対しては、外科手術が困難な場合は内視鏡的ステント留置を施行しています。

炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病等)に対する診断、入院～外来治療も施行しています。



(2) 肝臓、胆道、膵臓

肝疾患に対しては、現在当科に肝臓専門医の常勤がなく、専門医による治療が必要な場合は高知大学医学部附属病院 消化器内科と連携をとり、必要時は転院加療をお願いしています。

胆道膵臓疾患に対しても精査加療を積極的に行っています。

総胆管結石性胆管炎に対する精査として内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、治療として内視鏡的十二指腸乳頭切開術(EST)、内視鏡的乳頭バルーン拡張術(EPD)、巨大結石に対する内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術(EPLBD)を施行しています。

胆管閉塞に対しては、内視鏡的逆行性胆管ドレナージ(ERBD)、内視鏡的金属ステント留置(EMS)を施行しています。術後再建腸管等で内視鏡的処置が困難な場合は、経皮経肝胆道ドレナージ術(PTBD)の施行について放射線科にご協力いただいています。

膵病変の精査目的のERCP、超音波内視鏡検査(EUS)、超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)も施行しています。

ヘリコバクターピロリ菌未感染胃癌について

ヘリコバクターピロリ菌は1980年代に人の胃粘膜中に存在することが発見され、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌の危険因子であることが指摘されています。WHO(世界保健機関)でもピロリ菌は確実な発癌因子と認定されています。日本では胃癌の約99%がピロリ菌に感染しています。感染は衛生環境との関連が強く、近年は日本の感染率は低下してきています。今後は、日本での胃癌は減少していくと考えられます。

ヘリコバクターピロリ菌未感染の胃癌は、本邦の胃癌の0.42～0.66%と報告されています。今までの報告の多くは未分化癌(印環細胞癌)でした。近年、腺窩上皮型胃癌、胃底腺型胃癌、胃底腺粘膜型胃癌などが多く報告されてきています。

ラズベリー様腺窩上皮型胃癌とは

腺窩上皮型胃腫瘍は腺窩上皮細胞への分化を示す胃型腫瘍です。ヘリコバクターピロリ菌既感染胃では粗大な発赤調隆起の形態をとることが多いといわれています。ヘリコバクターピロリ菌未感染胃では、発赤調で表面顆粒状のラズベリー

様隆起の形態をとることが多いです。その見た目より、ラズベリー様腺窩上皮型胃癌と呼ばれています。形態的には非腫瘍性である過形成性ポリープと類似しています。免疫染色では、MUC5ACが強陽性、MUC6はほぼ陰性、MUC2/CD10は陰性で胃型形質を示します。潜在的な悪性度から日本では癌と診断されることが多いですが、WHO分類ではfoveolar-type gastric adenomaとされています。悪性度は低く発育も極めて緩徐と考えられています。

ラズベリー様腺窩上皮型胃癌と過形成性ポリープの内視鏡所見の違い

- | | |
|-------------|----------------|
| ①色調 | 発赤が強い |
| ②表面構造 | 形態不均一 |
| ③white zone | 薄い |
| ④窩間部の血管視認性 | 異常血管が高密度に視認できる |



〔画像提供：高知大学医学部附属病院 消化器内科〕

最後に

今回、消化器内科の紹介をさせていただきました。早期の食道癌、胃癌、大腸癌のすべてが内視鏡切除で治療できるわけではありません。画像検査にて明らかなリンパ節転移～遠隔転移が指摘されず内視鏡切除を施行しても、病理診断にて粘膜下層への癌の浸潤、血管、リンパ管への癌細胞の浸潤があれば転移のリスクを考慮し追加の外科手術が必要となります。できるだけ早期に発見することが重要です。早期癌は消化器癌に限らず自覚症状がないことが多いです。無症状であっても積極的に検診を受けることをお勧めいたします。

特にヘリコバクターピロリ菌感染が確認された方は、除菌治療後も胃癌のリスクは0にはなりません。定期的な内視鏡経過観察をお願いいたします。





あかちゃんのことを知るために



看護局ホームページ

新生児集中ケア認定看護師 山本 晃子

高知医療センターにはNICU(新生児集中治療室)・GCU(新生児回復室)があります。予定日より早く生まれたり、病気があったり、あかちゃんが入院する理由は様々です。治療を受けながらも日々成長していくあかちゃんをご家族といっしょに育てていく場でもあります。NICU・GCUの看護師がどんなふうにあかちゃんを知ろうとしているのかについてお伝えしたいと思います。



あかちゃんを知る①



入院しているあかちゃんは、2時間や3時間ごとに食事の時間があります。看護師はこの食事の時間に合わせてあかちゃんのケアを行うことが多いです。その理由は、あかちゃんが成長するためには睡眠が必要なためです。また、あかちゃんの睡眠を妨げない配慮も必要となります。NICU・GCUの看護師は、あかちゃんが眠っている状態や起きている状態、あかちゃんの意識の状態をみながら、ケアのタイミングや内容を考えています。あかちゃんの意識の状態のことを専門的な用語で「ステート」と言います。ステートは「深い睡眠、浅い睡眠、まどろみ、目覚め、活動的、啼泣」の6つに分類されています。

ママ・パパがあかちゃんの意識の状態(ステート)を知ること、あかちゃんのリズムがだんだんわかってくるとおもいます。いつの間にか、自然にそうになっていた経験はありませんか？



あかちゃんを知る②



あかちゃんは言葉で伝えることができません。苦痛や不快なときは泣いているときがあると思います。あかちゃんは泣いたり笑ったりしている他にもサインをだしています。あかちゃんののだすサインって何?と思うかもしれませんが、NICU・GCUの看護師はあかちゃんの行動を観察し、自分で落ち着くことができるサインがでている、ちょっとまってほしいサインをだしている、など判断しています。ストレスを感じているサインや安定しているサインもあります。NICU・GCUの看護師は、あかちゃんのもつ力や気持ちを理解しようとしながら関わります。あかちゃんを理解しようとする関わりは、あかちゃんの成長を支えるやさしいケアになっていると考えます。研究によると、あかちゃんは他者の気持ちを読む力があることがわかっています。あかちゃんはすごいですね。



コロナ感染症の流行から当院NICU・GCUは、面会の制限が厳しくなりました。徐々に緩和している状況もありますが、もとの状態にまでは戻っていません。入院しているあかちゃんのご家族と過ごす時間より、医療者と過ごす時間が長いです。あかちゃんとの関わりのなかで、あかちゃんにやさしいケアに取り組んでいます。

あかちゃんの意識の状態(ステート)

深い睡眠	浅い睡眠	まどろみ	目覚め	活動的	啼泣
自発運動なし	わずかな自発運動	開眼または閉眼	開眼	活発な自発運動	泣く

予防接種について



薬剤局ホームページ

薬剤局 伊東 愛理



10月から
新型コロナワクチンの
予防接種が始まりました

Q 予防接種ってなに？

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

Q ワクチンの役割とは？

予防接種には、「個人を守る」と「社会を守る」の2つの役割があります。ワクチンを接種すると、その病気に対する免疫が作られ、感染症の発症や重症化を予防することができます。また、多くの人が予防接種を受け免疫を獲得していると、社会に病気がまん延してしまうのを防ぐことができます。さらに、ワクチンを接種することができない人を守ることもつながります。

Q 受けた方がよいのはどのワクチン？

1) 定期接種

○「A類疾病」の予防接種は、誰もが受けるべき予防接種です。お住まいの市町村内で受ける場合、公費で接種が受けられます。対象者は予防接種を受けるように努めなければならないこと(努力義務)とされています。

【A類疾病】

- ・ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎(ポリオ)・Hib感染症<この5つのワクチンは、5種混合として一度に接種できます>
- ・B型肝炎・小児の肺炎球菌感染症・結核(BCG)・水痘
- ・日本脳炎・ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症・ロタウイルス
- ・麻しん・風しん<この2つのワクチンは、MRワクチンとして、一度に接種できます>

○「B類疾病」の予防接種は、費用の一部に公費負担がある場合があります。

【B類疾病】

- ・季節性インフルエンザ・高齢者の肺炎球菌感染症<いずれも65歳以上の方や、60～64歳で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方が定期接種の対象になっています。>

★新型コロナワクチン

令和6年10月から、個人の重症化予防を目的に定期接種(B類)として実施が開始されます。対象は65歳以上の方、および60歳から64歳で一定の条件を満たす方となります。原則自己負担であることには注意が必要です。

2) 任意接種

予防接種法に基づく定期接種以外にも、様々な状況に応じて、ワクチンを接種することができます。これは「任意接種」と呼ばれており、以下のワクチンがあります。

- ・個人が感染症にかかったり重症になるのを防ぐために受ける予防接種
(例: 季節性インフルエンザワクチン、流行性耳下腺炎)
- ・海外渡航の際に、渡航先によって、接種することが望ましい予防接種
- ・定期接種を受けそびれたり、受ける機会がなかった方が、対象年齢以外で受ける予防接種
※流行を防ぐために、行政から受けることを推奨している場合もあります。
- ・免疫の弱い方に接する機会がある方などが、周囲の方の感染を防ぐために受ける予防接種

Q 予防接種はいつ受ければよいの？

予防接種は、赤ちゃんがお母さんから受け継いだ免疫が薄れてくる時期、病気にかかりやすい年齢や重症化しやすい年齢などに応じて接種する必要があります。予防接種法に基づく定期接種は、病気ごとに定められた接種期間がありますので、適切な期間内に忘れないように接種することが大切です。

Q 予防接種を受ける前や受けた後には何を気をつければよいの？

○ 予防接種を受ける前

ご自身やお子さんが受けるべきワクチンの種類や時期を確認してください。接種するワクチンのメリットや副反応について接種医などと相談し、よく理解し接種を検討してください。また、当日の体調や過去の罹患歴などによって予防接種を受けることが適当ではない方もいらっしゃいます。

予防接種は体調が良いときに受けるのが原則です。いつもと様子が異なる、何となく調子が悪いと言う時は、受けることができるかどうかを必ず接種医に相談しましょう。

○ 予防接種を受けた後

予防接種後はしばらくの間、接種した医療機関内において、何も体調に変わりがないことを確認してから帰宅しましょう。また、なにか気になる症状があった場合は、まずは接種した医療機関の医師にご相談ください。

厚生労働省のホームページをもとに作成
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kihonteki_keikaku/index_00001.html#Q1



臨床検査技術部の紹介



医療技術局ホームページ

臨床検査技術部 清遠 由美

皆さん臨床検査技術部ってご存じですか？高知医療センターの医療技術局は放射線技術部、リハビリテーション技術部、臨床工学技術部、臨床検査技術部の4つの部で構成され、その中の一つが臨床検査技術部です。臨床検査技師と視能訓練士、数名の看護師が在籍しています。

どこにいるのかというと、まず、1階のコンビニ入り口の前を通ってつきあたり、透析室の隣に血液管理室があります。輸血製剤の管理を行っています。血液センターがこの部屋まで血液製剤(赤血球製剤、新鮮凍結血漿製剤、血小板製剤等)を搬送し、適切な温度管理のもとでこれらの血液製剤は保管されます。輸血の依頼があれば各患者さんに割り当てて検査に出し患者さんとの適合製剤であることを確認して払出をしています。



そして、同じく1階には10番受付の横に採血室があります。5台の採血台で朝8時からオープンしています。毎朝多くの患者さんに順番をお待ちいただいておりますが、午前中の繁忙時間帯には30分以上お待たせすることがあります。

その正面13番受付を通して放射線検査部門に入ります。そこに混じって8超音波検査室があります。超音波(エコー)検査はその名の通り超音波を使って写真をとる検査です。心臓エコーや肝臓、腎臓などの腹部エコー、頸動脈、下肢静脈などの血管エコー、乳腺、甲状腺などいろいろな箇所の超音波検査をしています。検査にかかる時間は

それぞれの項目、内容によって大きく違ってきます。平均的に20～30分ですが、1時間近くかかる場合もあります。

では2階にまいります。22番受付を通ると、生理検査室があります。心電図検査や肺機能検査、脳波、脈波、神経伝導速度の検査など多岐にわたって検査を行っています。その他、耳鼻科の検査にも対応しています。病棟や救急外来などへの救急の心電図対応もしています。同じく22番の受付から眼科へ行きますと、眼科検査を視能訓練士や看護師が対応しています。



生殖医療の現場でも医師の補助業務として臨床検査技師が活躍しています。



患者の皆さんは直接お目にかかることはめったにないですが、3階には病理検査室があります。病理組織検査、病理細胞診検査、病理解剖などを

行う検査室で医師や医療秘書とともに仕事をしています。病理組織検査では、内視鏡や手術で取り出した検体を病理専門医が切り出しその後の標本を臨床検査技師が作成、染色、管理しています。細胞診検査では悪い細胞がないかなど臨床検査技師が顕微鏡を使って試しています。

このような仕事の現場に臨床検査技術部のスタッフは存在しています。これからも、臨床検査技術部一丸となってみなさまのお役に立てるよう努力していきますので、よろしくお願ひします。



宝箱

～患者さんの声のご紹介～

当院は、患者さんのご意見は宝物であると考え、各フロアにご意見をいただく宝箱を設置しています。

患者さんに安心、安全、快適に診療を受けていただけるよう、日々努力を続けておりますので、お気づきの点は、良いこと、悪いこと、いずれでも結構ですので、できるだけ具体的にお教えてください。

※宝箱は緊急対応はでき兼ねます。お急ぎの場合はお近くの職員、またはまごころ窓口にお知らせください。

宝箱へのご意見

<無料Wi-Fiの設置要望>

私は食道がん治療で抗がん剤注射2回(入院)と放射線治療(入院、通院)をしています。先月他病院の広報誌で無料のWi-Fiが設置される。高知市の他の病院にもあるとのこと、高知医療センターでもWi-Fi設置を早急に検討していただくことを要望します。待合、病室でスマホを利用している方をよく見かけます。よろしくお願いします。

<回答内容>

周知不足のため、ご不便をおかけして申し訳ございません。当院では、すでに入院患者さんおよび外来患者さん用の無料Wi-Fiを提供しております。

入院患者さん用Wi-Fiにつきましては、病棟の看護師またはステーション事務までお声がけください。接続に必要な情報を記載した用紙をお渡しさせていただきます。

外来患者さん用Wi-Fiにつきましては、SSID(KHSC_Free_Wi-Fi)に接続後、表示される画面に従い操作を行ってください。

10月にSSIDが変更になり、通信速度が速くなりました！新しいSSIDや接続方法についてはホームページをご確認ください。

「公衆無線LAN(Wi-Fi)サービス」のページはQRコードからどうぞ！



総合診療科

	月	火	水	木	金
午前	吉村 彰人 宮本 大地 山本 将大	田邊 義貴 矢野 彰彦 村松 佐知子	宮本 大地 矢野 彰彦	吉村 彰人 田邊 義貴 山本 将大	石井 隆之 谷口 亜裕子 山本 直
午後	宮本 大地 村松 佐知子	山本 直	石井 隆之	青木 啓祐 (禁煙) 医師交代*1	矢野 彰彦

※1 10/10、10/24診察

精神科

	月	火	水	木	金
午前	澤田 健*2		山本 大介*2	北代 晶帆*2	船越 祥子*2
午後	船越 祥子*2		土田 亜希*2	澤田 健*2 土田 亜希*2	山本 大介*2

※2 再診のみ

児童精神科

	月	火	水	木	金
午前		船越 祥子*3	永野 志歩*3	永野 志歩*3 中村 朔也*3	永野 志歩*3 吉本 康高*4
午後	永野 志歩*5	永野 志歩*3	中村 朔也*3		吉本 康高*4

※3 再診のみ ※4 第4週診察 ※5 予約外来のみ

血液内科・輸血科

	月	火	水	木	金
午前	町田 拓哉 岡 聡司	今井 利 入吉 宏紀	葛目 亜弓 松本 颯	今井 利 岡 聡司	町田 拓哉 浦田 知宏
午後			造血幹細胞 移植後外来*6		

※6 第2、4週診察

糖尿病・内分泌内科

	月	火	水	木	金
午前	江端 千尋	菱田 藍	二宮 はるか	浅羽 宏一	医師交代*7 医師交代*8
午後	菱田 藍	江端 千尋	菱田 藍	江端 千尋	

※7 福田 憲二医師、菅野 尚医師が交代で診察

※8 菱田 藍医師、福田 憲二医師が交代で診察

放射線療法科

	月	火	水	木	金
午前	森田 荘二郎	西岡 明人	小倉 拓也	西岡 明人	小倉 拓也
午後			植田 太郎*9 藤原 利輝*9		

※9 隔週交代

緩和ケア内科

	月	火	水	木	金
午前	光岡 妙子				

腫瘍内科

	月	火	水	木	金
午前	島田 安博	根来 裕二	島田 安博 平川 雅海	根来 裕二 医師交代*10	根来 裕二
午後		根来 裕二	島田 安博*11	根来 裕二	

※10 辻 晃仁医師、奥山 浩之医師が交代で診察 ※11 15時まで

ペインクリニック科

	月	火	水	木	金
午前	山本 賢太郎	山本 賢太郎	穴山 玲子	穴山 玲子	山本 賢太郎
午後	山本 賢太郎	山本 賢太郎	穴山 玲子	穴山 玲子	山本 賢太郎

神経内科

	月	火	水	木	金
午前		丸吉 夏英			
午後		池田 達也			丸吉 夏英

脳神経外科

	月	火	水	木	金
午前	西村 裕之 福田 真紀			森本 雅徳	近藤 雄一郎
午後			松岡 賢樹	森本 雅徳*12	津野 隆哉*13 山崎 大智*13 近藤 雄一郎

※12 再診のみ ※13 隔週交代

眼科

	月	火	水	木	金
午前	大庭 啓介 高橋 政雄	大庭 啓介 林 勇樹 高橋 政雄	大庭 啓介 林 勇樹 高橋 政雄	大庭 啓介 林 勇樹 高橋 政雄	大庭 啓介 高橋 政雄

耳鼻咽喉科

	月	火	水	木	金
午前	小桜 謙一 土井 彰 長尾 明日香		小桜 謙一 土井 彰 長尾 明日香		小桜 謙一 土井 彰 宮本 翔太郎

歯科口腔外科

	月	火	水	木	金
午前	銅前 昇平 立石 善久 原 慎吾 金本 栄華	立本 行宏 ^{*14} 銅前 昇平 金本 栄華 〈障害者歯科〉 福留 麗実 〈妊婦歯科健診〉 福留 麗実	銅前 昇平 立石 善久 原 慎吾	立本 行宏 銅前 昇平 立石 善久 福留 麗実 〈障害者歯科〉 福留 麗実 〈妊婦歯科健診〉 福留 麗実	医師交代 〈障害者歯科〉 鈴木 康男 福留 麗実 〈妊婦歯科健診〉 福留 麗実
	銅前 昇平 立石 善久 原 慎吾 福留 麗実	銅前 昇平 立石 善久 原 慎吾 福留 麗実	立本 行宏 原 慎吾 金本 栄華 福留 麗実	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 金本 栄華	医師交代 〈障害者歯科〉 鈴木 康男 福留 麗実

※14 第1、3、5週診察

呼吸器内科

	月	火	水	木	金
午前	山根 高	浦田 知之	山根 高		浦田 知之 梅下 会美

呼吸器外科

	月	火	水	木	金
午前	岡本 卓 張 性洙 吉田 千尋			岡本 卓 張 性洙 吉田 千尋	
午後	岡本 卓 張 性洙			吉田 千尋	

循環器内科

	月	火	水	木	金
午前	尾原 義和 吉村 由紀	山本 克人	山本 克人	福岡 陽子	川田 哲史
午後	〈虚血〉 尾原 義和 ^{*15}	〈検診精査〉 山本 克人 ^{*15}	〈ペースメーカー〉 医師交代 ^{*16} 〈検診精査〉 山本 克人 ^{*15}	〈検診精査〉 山本 克人 ^{*15}	〈ペースメーカー〉 医師交代 ^{*16}

※15 紹介患者さんのみ ※16 第2、4週休診

心臓血管外科

	月	火	水	木	金
午前	木原 一樹 ^{*17} 〈低侵襲血管内治療〉 大上 賢祐				木原 一樹
午後	木原 一樹 ^{*17}				近藤 庸夫

※17 紹介患者さんのみ

消化器内科

	月	火	水	木	金
午前	高田 昌史 平川 雅海	岡本 雄貴	岡本 宣人	小笠原 美樹 久家 直子	岡本 宣人
午後			西原 利治		

消化器外科・一般外科

	月	火	水	木	金
午前	岡林 雄大 稲田 涼	尾崎 和秀 高田 暢夫	田淵 幹康	中村 敏夫 岡林 雄大 佐藤 琢爾 〈遺伝〉 吉岡 貴裕 ^{*18}	澁谷 祐一 稲田 涼
午後	〈排便〉 井上 弘章	中村 敏夫	尾崎 和秀 高田 暢夫	岡林 雄大 佐藤 琢爾	徳丸 哲平

※18 第2週診察

泌尿器科

	月	火	水	木	金
午前	西山 康弘 兼元 信	新 良治 西山 康弘 兼元 信		新 良治 西山 康弘 坪井 一馬	新 良治 坪井 一馬

腎臓内科・膠原病科

	月	火	水	木	金
午前	土山 芳徳	土山 芳徳	土山 芳徳	土山 芳徳 出原 悠子	出原 悠子
午後		土山 芳徳 西村 誠明		土山 芳徳	

移植外科

	月	火	水	木	金
午前		澁谷 祐一 堀見 孔星	澁谷 祐一 堀見 孔星		

婦人科

	月	火	水	木	金
午前	塩田 さあや	山本 寄人 若槻 真也	林 和俊 ^{*19} 岡 眞萌 ^{*20}		山本 寄人 川瀬 史愛
午後		〈下肢リンパ浮腫〉 山本 寄人	〈上肢リンパ浮腫〉 高島 大典 ^{*21}	難波 孝臣 〈女性総合・婦人科〉 上野 晃子	

※19 第2、4週診察 ※20 第1、3、5週診察 ※21 第2週診察

産科

	月	火	水	木	金
午前	岡 真萌	塩田 さあや	渡邊 理史		難波 孝臣
午後	若槻 真也 〈胎児超音波〉 医師交代	〈胎児超音波〉 医師交代		渡邊 理史 〈出生前診断〉 医師交代	〈セミオープン〉 医師交代

皮膚科

	月	火	水	木	金
午前	高野 浩章 高野 正暉	高野 浩章 高野 正暉	高野 浩章 高野 正暉	高野 浩章 高野 正暉	高野 浩章 高野 正暉
午後			〈光線治療〉 高野 浩章		

生殖医療科

	月	火	水	木	金
午前			小松 淳子		
午後	医師交代*22		小松 淳子		

*22 再診のみ

整形外科

	月	火	水	木	金
午前	廣瀬 一樹	金高 圭甫 〈脊椎〉 藤原 吉宏	〈骨軟部腫瘍〉 沼本 邦彦 〈脊椎〉 宇川 諒 山本 哲也	〈脊椎〉 藤原 吉宏	沼本 邦彦
午後			〈脊椎〉 宇川 諒 〈骨折〉 山川 泰明	町田 崇博	

小児科

	月	火	水	木	金
午前	西内 律雄 〈小児発達〉 中田 裕生*23 〈内分沁・腎臓〉 宮澤 真理*23	浦田 奈生子*24 大野 友香子*25 〈小児発達〉 土本 啓嗣 〈内分沁・腎臓〉 宮澤 真理	西内 律雄 〈内分沁・腎臓〉 宮澤 真理 〈小児慢性〉 所谷 知穂 〈小児循環器〉 川本 祐也*26 重光 祐輔*27	宮澤 真理 〈小児発達〉 金澤 亜綿 〈小児慢性〉 石井 雅人	浦田 奈生子 〈小児発達〉 中田 裕生*23 〈小児神経〉 所谷 知穂
午後	釣井 龍門 〈内分沁・腎臓〉 宮澤 真理 〈小児循環器〉 浦田 奈生子 〈予防接種〉 医師交代	石井 雅人 〈小児発達〉 金澤 亜綿 〈乳児検診〉 医師交代	大野 友香子 〈小児発達〉 金澤 亜綿 〈小児循環器〉 川本 祐也*26 重光 祐輔*27	林 奨之 〈小児発達〉 中田 裕生*26 〈小児アレルギー〉 土本 啓嗣 〈小児神経〉 所谷 知穂 〈内分沁・腎臓〉 宮澤 真理	大野 友香子 〈小児神経〉 小林 勝弘*28 〈血液・腫瘍〉 西内 律雄 〈小児循環器〉 栗田 佳彦*29 〈予防接種〉 医師交代

*23 予約外来のみ *24 第1、3、週診察
*25 第2、4、5週診察 *26 第1、3、5週診察
*27 第2、4週診察 *28 第1週診察 *29 第4週診察

形成外科

	月	火	水	木	金
午前	五石 圭一	原田 浩史		五石 圭一	原田 浩史
午後					原田 浩史

乳腺・甲状腺外科

	月	火	水	木	金
午前		〈乳腺〉 吉岡 遼	〈甲状腺〉 大石 一行*30 〈乳腺〉 高島 大典*31		〈甲状腺〉 大石 一行
午後		〈乳腺〉 吉岡 遼	〈甲状腺〉 大石 一行*30 〈遺伝〉 大石 一行*32 高島 大典*33		〈甲状腺〉 大石 一行

*30 第1、3、5週診察 *31 第2、4週診察
*32 第2週診察 *33 第4週診察

小児外科

	月	火	水	木	金
午前			佐々木 潔		
午後	佐々木 潔		佐々木 潔		



外来担当は変更になる場合があります。
最新の情報はこちらからご覧いただけます。



休診情報はこちらからご覧いただけます。

※休診日等は外来担当表、休診情報をご確認ください。

※要予約

専門外来名	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
禁煙外来								○		
造血幹細胞移植後外来						○				
障害者歯科外来		○	○	○		○	○		○	○
妊婦歯科検診外来			○				○		○	
虚血外来		○								
ペースメーカー外来						○				○
低侵襲血管内治療外来			○							
婦人科・リンパ浮腫外来				下肢 ○		上肢 ○				
女性総合・婦人科外来								○		
胎児心臓超音波外来		○		○						
出生前診断外来								○		
セミオープン外来										○
小児発達外来	○		○	○		○	○	○	○	
小児内分泌・腎臓外来	○	○	○			○		○		
小児慢性疾患外来						○		○		
小児神経外来								○	○	○
小児予防接種外来		○								○
乳児検診外来				○						
小児循環器外科外来		○				○	○			○
小児アレルギー外来								○		
小児血液・腫瘍外来										○
光線治療外来							○			
脊椎外来			○		○	○	○			
骨軟部腫瘍外来					○					
骨折外来						○				
遺伝性腫瘍外来						○	○			
排便外来		○								

セカンドオピニオン

予約受付 月～金曜日 8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)

お申込み まごころ窓口

電話：088-837-3000

FAX：088-837-6778



予約制で自由診療(自費)です。相談時間は1時間(報告書作成時間を含む)までで11,000円(税込)、場合によっては最大30分まで延長(5,500円、税込)します。

がん相談

相談日時 月～金曜日 9:00～16:00(祝日・年末年始を除く)

相談方法

面談相談：がんサポートセンター
4階 がん相談支援センター

電話相談：088-837-3863(直通)

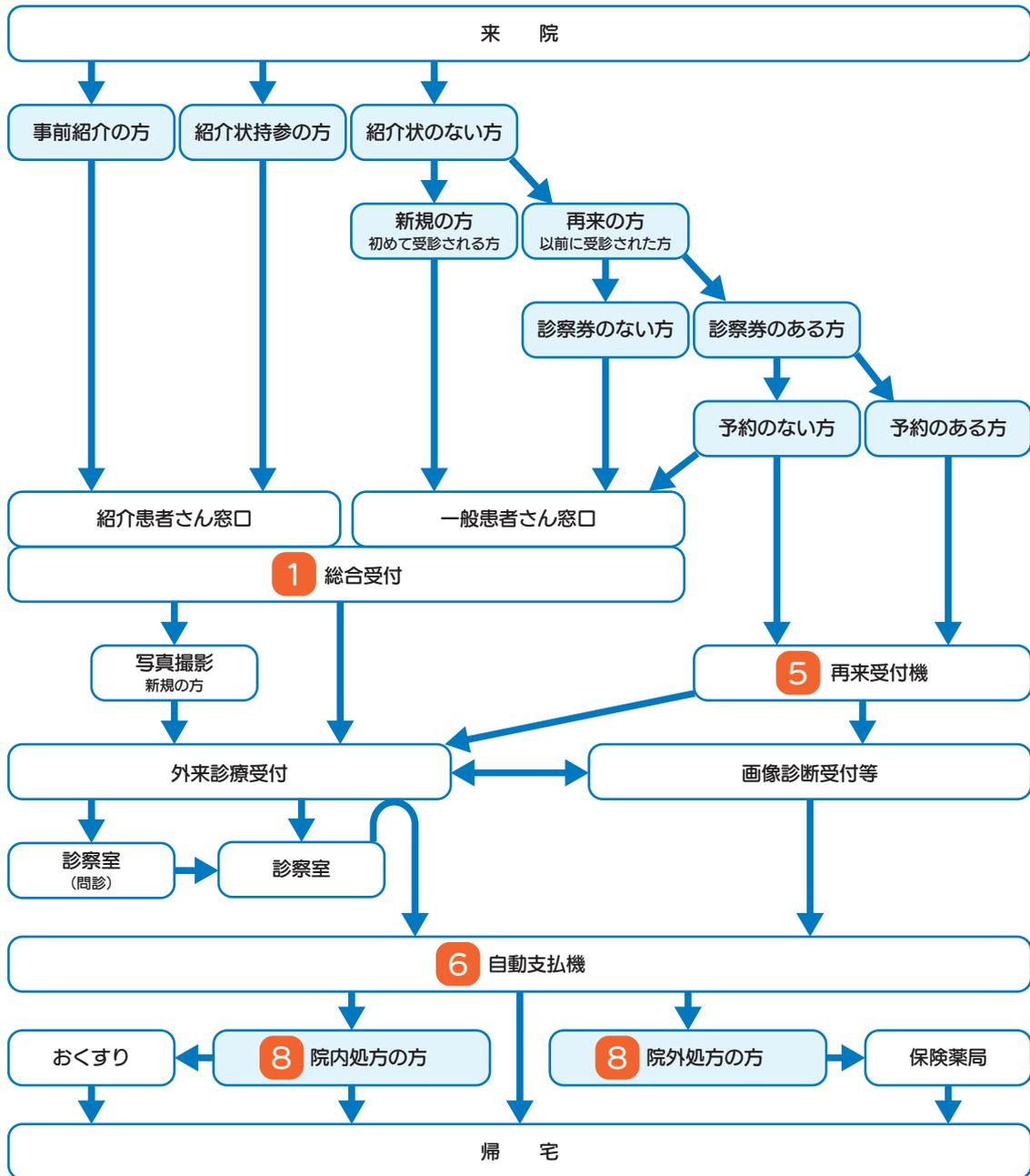
F A X：088-837-3871

E-mail：gann_consult@khsc.or.jp



※混み合っている場合には、お待ちいただくか、予約をして後日来院していただくこととなります。ご了承ください。
※がん相談は治療方針を決定するところではありません。

外来診療の流れ



原則予約制です。予約外の方は当日来院時に診療予約を行ってください。

お電話での予約は「かかりつけ医」からの申し込みのみ受け付けております。

※紹介状がなく、予約をせず来院された方も一部診療科を除き診察は可能ですが、当日の予約の空き時間での診察となります。したがって、待ち時間が長くなりますし、ご希望の診療科を受診できない場合があります。また、このような場合は、初診料・外来診療料(再診料)とは別に選定療養費が必要となります。救急の場合は時刻にかかわらず救命救急センターで対応いたします。

※整形外科の初診受付は院外の整形外科医からのご紹介患者さんで、地域医療連携室を通した診療予約のある方のみに限らせていただいております。

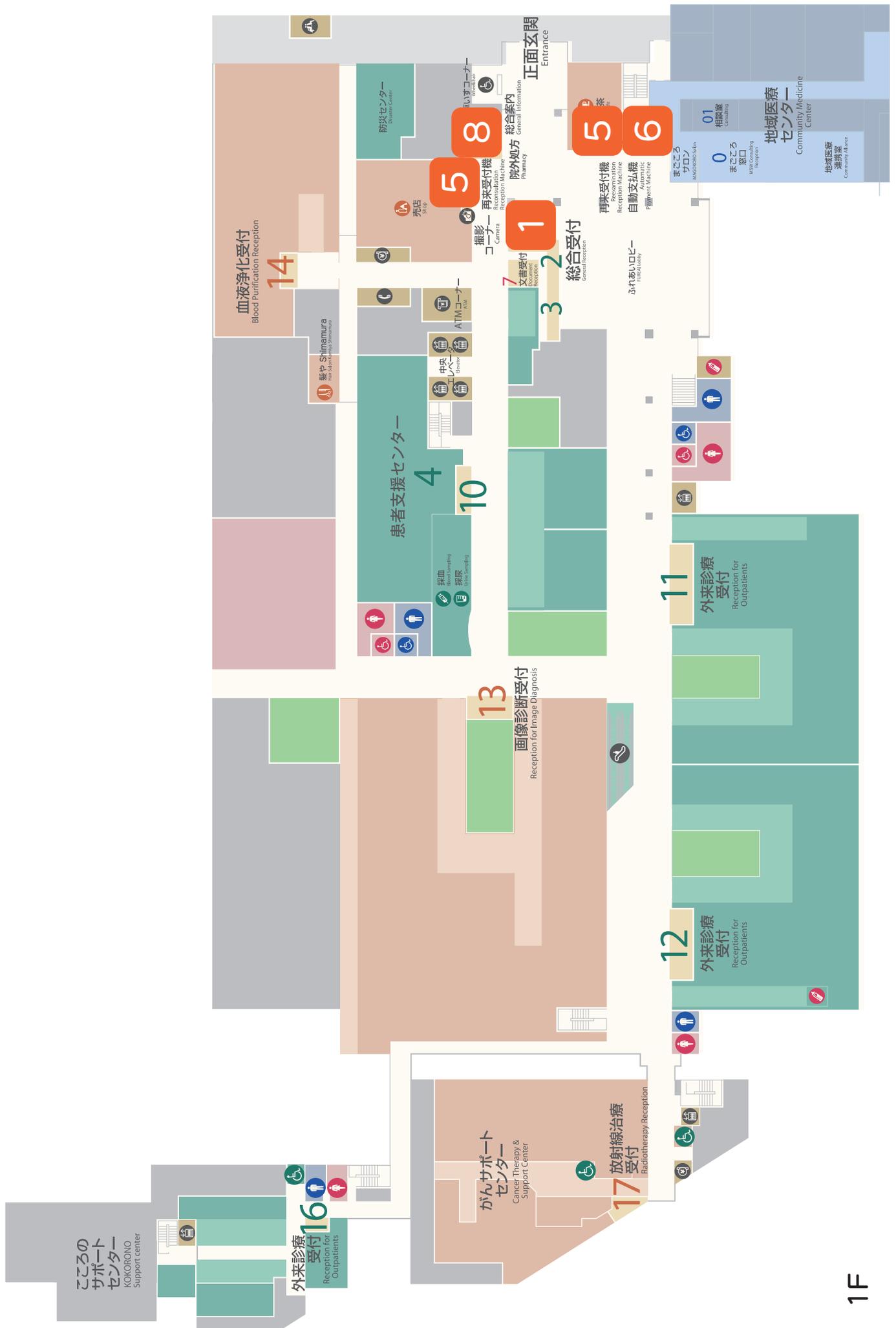
外来診療時間

午前8時30分～12時／午後1時～4時30分
(休診日)土・日・祝日・年末年始

お問合せ

TEL : 088-837-3000 (代)

FAX : 088-837-6766



1F

大切な
お知らせ

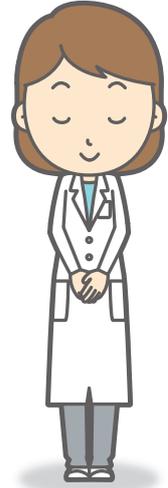
紹介患者さん受け入れ停止のご案内

医師の減少に伴い、診療体制の縮小が必要となることが予想されます。このため、当分の間、以下の診療科の患者さんの受け入れを停止させていただきます。

現在、当院にかかられている患者さんについても、地域の医療機関へ紹介をさせていただくことがあると思いますので、ご協力をお願いいたします。

また、紹介患者さんの受け入れ再開の折には、改めてホームページにてお知らせいたします。

患者さんおよび地域の医療機関の皆さまには多大なご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。



- 腎臓内科・膠原病科
- 糖尿病・内分泌内科
- 産科・胎児診断科(出生前診断)

医師の採用情報は以下のQRコードよりご覧いただけます



総合診療科



神経内科



消化器外科・一般外科
乳腺外科



腎臓内科・膠原病科



救命救急科

ドクターヘリ・ドクターカー 見学会を開催

令和6年9月9日、高知県立東高等学校看護科3年生29名が当院を訪れ、ドクターヘリ・ドクターカーの見学を行いました。大麻康之フライトナースによる講演を経て、実際にドクターヘリやドクターカーを見学し、救急医療の現場を体感していただきました。将来、フライトナースという進路を選ぶ学生が増えることを期待しています。



申込不要
入場無料

令和6年**11**月**2**日(土)

14:00～16:00

(開場13:30)

高知県立高知城歴史博物館

1Fホール(高知市追手筋2-7-5)

※館内での水分補給を除く飲食はご遠慮ください。



地域がん診療連携拠点病院

第57回(令和6年度第2回)

高知医療センター

特別講演会

市民公開講座



参加して
ヘルシーポイントを
ゲットしよう!!

当院では県民の皆さま、患者さん、ご家族の方、医療に携わっている皆さまを対象に、がんについての公開講座を開催しています。どなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしています。

がん診療における

PET・CTの役割

高知医療センター

放射線科／がんセンターRIセンター長

岩佐 瞳

PET検査を受けて、

安心しましょう

医療法人社団 葵会 東京ベイ先端医療・幕張クリニック

院長・画像診断センター長

長町

茂樹



講演会情報はこちらからも
ご覧いただけます♪

主
後

催：高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

援：(一社)高知県医師会／(一社)高知市医師会／(一社)高知県歯科医師会
(公社)高知県看護協会／(公社)高知県薬剤師会／高知県病院薬剤師会
KUTV テレビ高知／高知新聞社／RKC高知放送／KSSさんさんテレビ
KCB高知ケーブルテレビ／NHK高知放送局

お問合せ：高知医療センター 事務局 経営企画課 TEL：088-837-3000

えいようだより



栄養局ホームページ えいようだより

管理栄養士 赤松 遥

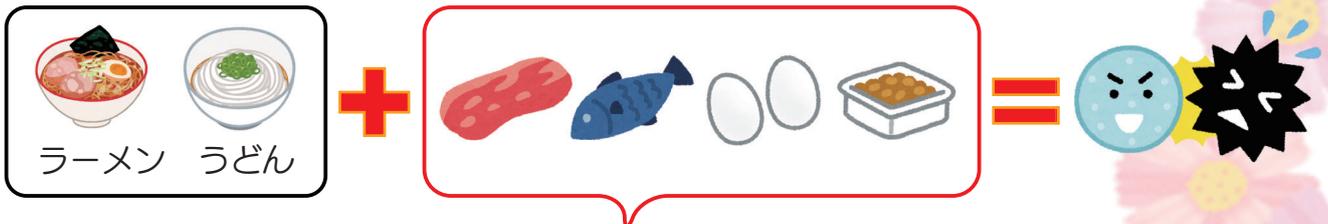
寒さに負けない身体づくり！免疫力を高める食事の摂り方！！

風邪やインフルエンザが流行し始めるこの時期は、病原体に負けない身体づくりを行い、免疫力を高める必要があります。今回は免疫強化に必要な栄養素である「たんぱく質」と「ビタミンA」についてご紹介します。

たんぱく質

病原体を退治する**免疫細胞**と、病原体が最初に入ってくる**鼻や喉の粘膜**は、主に**たんぱく質**でできています。これらの細胞や粘膜は、少しずつ作り替えられるため、たんぱく質が不足すると免疫細胞や粘膜も弱くなってしまいます。

食事が、主食のみに偏っていませんか？



良質なたんぱく質は**肉・魚・卵・豆腐・大豆製品・牛乳・乳製品**に多く含まれています。特に忙しい朝はたんぱく質が不足しがちです。卵や納豆、ヨーグルト等、手頃な食品を**毎食1品**加えて免疫力を高めましょう！

ビタミンA

緑黄色野菜に多く含まれるβ-カロテンは、体内でビタミンAに代わり身体の**粘膜の乾燥、感染を防ぎます**。脂溶性のため油と一緒に摂ると吸収が良くなります。ビタミンAを多く含む食品にはレバーや卵黄、**ニンジン**、**かぼちゃ**、**ほうれん草**等があり、特に植物性は**料理に取り入れやすくおすすめ**です。

緑黄色野菜の代表格

寒さに耐えるため
甘みが強い冬の



〈ニンジン 皮なし100gの栄養量〉

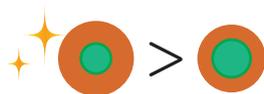
エネルギー	30kcal	たんぱく質	0.8g
脂質	0.1g	炭水化物	8.7g
食物繊維	2.4g	βカロテン	6700μg

ニンジンに含まれる栄養素

- ①β-カロテン
感染予防だけでなく、抗酸化作用をもつため肌荒れ防止や動脈硬化、心疾患等の生活習慣病にも効果があります。

美味しいニンジンの選び方

- ・丸みがある
- ・太く色が濃い
- ・葉の切り口が小さい



もし葉付きニンジンをみつけたら…

ニンジンの葉にはビタミンCやカルシウム、葉酸等の栄養素が沢山含まれています。

- 柔らかい葉→サラダやお浸し
- 硬い葉→細かく刻んで炒め物
- 苦味緩和→塩もみや天ぷら

ニンジンとリンゴの さっぱりドレッシング



サラダにかけると
華やかになります♪

撮影・料理：赤松

<材料 2人分>

ニンジン	半分(85g)
リンゴ	1/4個(70g)
オリーブオイル	大さじ2
酢	大さじ1
はちみつ	小さじ1
塩	小さじ1/2

<作り方>

- ①ニンジンとリンゴをすりおろす。
(大根おろし器使用) ◀
- ②酢とはちみつをよく混ぜる。
- ③②にオリーブオイルを混ぜる。
※分離しないよう少量ずつよく混ぜる。
- ④①と③をよく混ぜる。
- ⑤味を見ながら塩を混ぜる。

<大さじ1の栄養素>

エネルギー	26kcal
たんぱく質	0.1g
脂質	2.1g
炭水化物	2.1g
食物繊維	0.3g
食塩	0.3g



甘みが苦手な方は
はちみつを少なめに♪

★フードプロセッサーを使用する場合は、①-⑤をまとめて調理可能です！



を開催しました

7月20日(土) 地域がん診療連携拠点病院 公開講座(梶原町)

当院医師による地域がん診療連携拠点病院 公開講座をゆすはら・夢・未来館 大ホールにて開催しました。当日は暑い中、多くの地域の皆さんにご来場いただきました。

たくさんの質問もいただき、アンケートでは、「普段聞けないことが専門の先生にたくさん聞いて勉強になりました。」「わかりやすく説明いただきありがとうございます。」「こういう機会はあまりないので参加させてもらいよかったです。」等、嬉しい感想をいただくことができました。

公開講座は今後も開催を予定しています。次回は11月2日(土)高知城歴史博物館にて特別講演会を開催します(17ページをご参照ください)。ぜひ、ご参加いただき、皆さんの健康づくりにお役立てください。

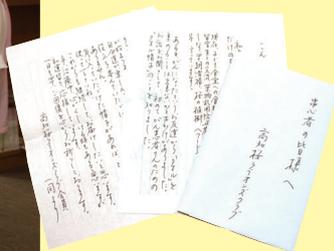


タオル帽子をご寄付いただきました

10月2日(水)、高知桜ライオンズクラブの皆さんより、手作りのタオル帽子のご寄付をいただきました。「辛い治療中、心がくじける時もあると思いますが、私たち皆で応援しています。一日も早いご回復を心からお祈りしております。」と書かれたお手紙からは、高知桜ライオンズクラブの皆さんが心を込めて作ってくださった温かいお気持ちがあふれでていました。

タオル帽子はさっそくがんサポートセンターの外來にて、希望者にお配りさせていただいています。

高知桜ライオンズクラブの皆さま、本当にありがとうございました。



<表紙写真>

9月2日、当院の災害派遣用のDMAT車が新しくなりました。

左から

副院長・災害対策委員長：山本 克人

救命救急センター長：齋坂 雄一

副院長：澁谷 祐一

こころ 第54号

高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター 広報誌

発行 令和6年10月31日
発行者 小野 憲昭
題字 佐藤 光峰
編集 高知医療センター 広報委員会
印刷 株式会社 高陽堂印刷

高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター

〒781-8555
高知県高知市池2125-1
TEL：088-837-3000(代)
FAX：088-837-6766
H P：https://www2.khsc.or.jp



ホームページ



広報誌こころ